

8. フィリピン (Philippine)

鈴木 絵美留

<前号 (210号) から続き>

かわとはきものの読者の皆様の中にも、マリキナへ訪れたことがある方もいらっしゃるかもしれないですね。インターネットで検索すると、「マリキナ訪問記」や「マリキナ靴博物館」についてのレビューを日本語でたくさん読むことができます。205号~207号で紹介したベルギーのShoe or no shoes Museum (SONS) についてはなかなか日本語で紹介されている記事を見つけられなかったのですが、マリキナ靴博物館については日本語での情報も入手しやすいです。

またマリキナは街をあげて、靴にちなんだイベントを開催しており、本当に街の皆さんがマリキナの靴のことを愛しているのだなと、こちらも嬉しい気持ちになってきます。街の皆さんが同じ目的や目標へ向いているってとても素敵なことだと思いますし、自分たちがまず一番に楽しむという姿勢を持っていれば楽しい場所には人が自然と集まってきましたよね。今後の益々の発展を願ってやみませ



画像はWikimedia Commonsより、Ramon F Velasquez撮影 ギネス世界記録認定されたマリキナの世界最大の靴(2002年から2013年4月まで)の展示場所は2020年終わりに閉店してしまったリバーバンクセンター(ショッピングモール)内の靴屋さんでした。現在の展示場所は不明です。

ん。2002年には世界最大の靴を作り、ギネス世界記録に認定されたことがありました。「ありました」と過去形なのは2013年4月に香港の靴販売会社によって記録が更新されてしまったからです。

また、2020年に台風がフィリピンを直撃した際に、大きな靴のオブジェが流されてしまったことがありました。ひどい台風で甚大な被害をもたらしました。痛ましい限りです。



画像はフィリピンのニュースチャンネルABS-CBN公式サイトより、2020年11月にフィリピンを直撃した台風ユリシース(フィリピン名)が去った後の様子。赤い靴のオブジェが倒れています。他にもインターネット上ではマリキナ川を巨大なハイヒールのオブジェが流れて、橋にぶつかって壊れてしまう様子など、当時の状況を伺うことができます。

ここ数年は開催されていないようですが、「Tour de Takong」(Tour of High Heels)というハイヒールを履いて走って競争するイベントがあり、男性も女性も高いハイヒールを履いて仮装をしたり、ハイヒール型の乗り物に乗りパレードをしたり街を上げて履物にちなんだイベントを行っています。このハイヒールレースの参加条件は3インチ(7.6cm程)以上のハイヒールを履くこと!600メートルをハイヒールで走り、優勝した人にはなんと50,000フィリピンペソ(2019年12月開催時の

レートだと約10万円!)とハイヒールオブジェのトロフィーが贈られています。レースの最中に慣れないハイヒールで転倒する人、ヒールが折れてしまって棄権する人も出たりして、参加する人も応援する人も大変盛り上がるイベントです。フィリピンのABS-CBNニュースにてイベント時の様子が動画になっています。(https://www.youtube.com/watch?v=DLurQXT7NfU) とっても楽しそうな様子がよくわかります。ちなみに世界にはハイヒールを履いて走るレースが色々な国で開催されています。場所によっては男性のみのハイヒールレースが開催されているところも・・・こういう履物に関するイベントについてもたくさん紹介していきたいなと思っています。(ミュージアムの役割には地域社会の発展への寄与をはじめ、文化を紹介することも一端ですから。)

次回マリキナでTour de Takongが開催される時は是非見に行きたいと思っています。



画像は2015年度のTour de Takongのチラシ

さて、そんなマリキナにある「マリキナ靴博物館」ですが、なんととっても小さくてかわいらしい建物なのです。しかし、中にはいるとたくさんの靴のコレクションが展示されています。

私は前回で紹介したUberの配車アプリを使ってフィリピン内の移動をしていたのですが、博物館はどこにあるのかな?と車の中でキョロキョロしていると、道路と道路の間に挟まれ



画像はWikimedia Commonsより Judgefloro撮影
マリキナ靴博物館の外観



画像は著者撮影 博物館前の木型のオブジェと看板

た小さい建物でした。言われなかったら、靴の博物館ってわからなかったです。降りてみると、ストリートにはレストランや店舗も多く、スクーターがたくさん走っていて、小さな町の中心街と行った雰囲気です。博物館のすぐ近くにはPhilippine International Footwear Centerという靴販売や、材料を販売するメーカーのテナントをはじめ、周辺にはたくさんの靴屋さんや靴工房があります。

ゆっくり散策する時間が取れなかったもので、ストリート沿いの靴屋さんや靴工房を訪れることができなかったのも、次回はゆっくりと訪れたいと思います。<次号へ続く>



画像は著者撮影 Philippine International Footwear Center入り口